

信大病院 21C

# ハミングク



No.67  
2014.5.2

## 基本理念

本院は診療・教育・研究を遂行する大学病院としての使命を有し、また患者さんの人権を尊重した先進的医療を行うとともに、次代を担う国際的な医療人を育成する。



「ドクターヘリコプター in 穂高」  
撮影：赤羽 俊夫

## 主な記事

● 病院長挨拶 .....	2	● 西4階 病棟の紹介 .....	7
● 新規職員紹介 .....	4	● ご意見函からの声 .....	7
● 総合診療科開設 .....	5	● 電話番号表・編集後記 .....	8
● 腎臓病教室 .....	6		

天野直二前病院長の後任として、平成26年4月1日付けで病院長に就任した本郷一博です。重責に身が引き締まる思いですが、医療安全管理室長、手術部長、先端医療教育研修センター長などの経験、そして副病院長としての経験などを元に、病院長としての職務を全うする覚悟でございます。

昨今、医療を取り巻く環境は厳しさを増しておりますが、信州大学医学部附属病院は、前病院長はじめ歴代病院長の強い指導力により、確実に前進しています。この路線を継承・発展させることが私に課せられた責務です。今日、大学病院の使命は、全国国立大学附属病院長会議からの提言にあるように、教育、診療、研究に加え、地域貢献、国際化の5本の柱であります。それぞれの柱を、信大病院の特色を出した「信大版〇〇」といえるような内容にできればと考えております。

多くの重要な使命を果たす基盤は、やはり人材。人あってこそ、であります。1700名を超える教職員が、忙しくも高い士気、充実感を持ちながら働けるような環境でなければならないと考えております。そのために、次の点に力を入れたいと考えています。

## 1. 病院機能強化の推進

「基盤整備なくして高度医療なし」と考えております。ハイブリッド手術など手術室の充実、がんセンターの強化、ICU・HCUの充実、周産期医療の充実、MRIの移転などの病院機能強化を目的とした6階建ての「包括先進医療棟（仮称）」を、平成30年のオープンを目指して建設を始めるべく、計画を練りつつ、現在文科省と折衝を進めています。この事業の実現は、天野直二前病院長から託された最大の課題であります。

「包括先進医療棟（仮称）」建設後は、6人病室を

4人病室とし、個室を増やすなど20数年先を見据えた機能強化のため、病棟の大幅な改築を計画しております。

ハード面だけでなく、医療安全、感染対策、医療情報など中央部門のソフト面での機能強化、また、医療の質の向上、評価にも取り組む必要があると考えています。

信州大学医学部附属病院

# 病院長挨拶

本郷 一博

## 2. 長野県の医療拠点としての機能強化

長野県内の医療拠点として、県内の医療施設との病病連携・病診連携機能の更なる強化を目指します。特に、長野県がん診療連携拠点病院として、がん診療のレベルアップを目指した専門研修、診療支援など、また、緩和医療の充実も図ります。

平成24年6月に開始した信州メディカルネットを更に推進します。

超高齢化社会を迎え多様化する医療のニーズに対応するため、平成25年11月に設置した総合診療科をこ

の4月から本格稼働いたします。地域医療を充実させるとともに、将来的に総合診療ができる医師を育成し、長野県の地域医療の更なる拡充を目指します。

平成23年から行われている「看護マイスター育成プログラム」を継続し、若手看護師を育成できる人材育成を継続します。



### 3. 先進医療の更なる推進、臨床研究体制の充実

「信州から世界へ」をスローガンに、先進医療の更なる推進を目指します。近未来医療推進センターを更に充実させ、近く設置を予定している臨床研究支援センターとともに、臨床研究を支援する体制を作り、「樹状細胞ワクチン療法」ほか再生医療分野など信大独自の研究を支援します。取り組みのひとつとして、本年4月からは、糖尿病内科及び移植外科に「隣島移植外来」を開設し、隣島移植レシピエントの登録を開始します。

天野直二前病院長が始められた「教育研究診療推進プロジェクト」に対する助成を継続し、文科省科学研究費あるいは厚労省科学研究費などの競争資金の獲得を目指し、研究の活性化に繋がりたいと考えます。これは、医師、コメディカルにとり、研究マインドの向上に寄与し、信大病院のレベルアップに通ずるものと確信しています。

### 4. 救急・災害医療の更なる充実

平成23年10月に開始したドクターヘリも順調に安全に運行され、昨年11月には出動回数1000回を超えました。今後、運用強化のための診療体制の充実を図り、救命率の更なる向上を図ります。

東日本大震災から3年余り経ちます。いつ起こるかかわからない災害に対応するため、災害に強い大学病院を目指し、地域との連携体制を強化し、訓練を含めた災害対策に取り組みます。

### 5. 医療人育成の充実

医師の卒前・卒後教育、専門医教育、看護師などの専門職の生涯教育は、一環したシステムで行う必要があります。従来、医師の教育において、卒前教育は医学教育センターが、初期研修医教育は卒後研修センターが中心となって、それぞれ取り組んできました。医師、コメディカルを一環したシステムで全人的な医療人の育成を行うべく、地域医療人育成センター、先端医療教育研修センターも統合し、現在、医学部との合同プロジェクトチームで「新教育研修機構（仮称）」設立に向けた作業が進んでおります。医学部との協力のもと、この機構の早期実現を目指します。



## 6. 国際人事交流の推進

信州大学では国際教育交流委員会、国際学術交流委員会などの組織を通じて、国際人事交流の取り組みが行われていますが、大学病院としても医学部と連携し、外国人の臨床研修の積極的な受け入れ、また海外派遣制度を活用し、医師・看護師などに対する留学支援を進め、国際人事交流に努めます。これは信大病院の活性化とアイデンティティの構築に繋がるものと確信しております。

## 7. 各部門、職種の業務改善

医師・看護業務などをより安全効率的に行うため、医療事務作業補助者や看護補助者などの配置を更にすすめ

るべく努力します。臨床工学技士など、業務の効率化の見直しも行いつつ、マンパワーの充実に努めます。

まだまだ多くの課題がありますが、まずはここに掲げたことを中心に取り組んで参ります。なお、業務端末の初期画面右上に「病院長室より」というアイコンがあります。より開かれた大学病院を目指して、皆様方にさまざまな思い、情報などをお伝えできればと思っております。

皆様方のご支援、ご協力よろしくお願いいたします。

信州大学医学部附属病院 病院長挨拶

# 新戦力! ~新規職員紹介~

新年度になり、たくさんの職員が信州大学医学部附属病院に入職いたしました。

そんな新規職員の抱負をご紹介します。みなさんといろんな場面でお会いするかもしれませんが、どうぞよろしくお願いいたします。

## 「人に喜びを与えられるセラピスト」になりたい

私がこの職業に就こうと思ったきっかけはスポーツによる怪我です。あの時の私はとても落ち込み、やりたいことができない辛さを経験しました。しかし、リハビリしていただいたおかげで治る喜びを感じることができ、スポーツに復帰することもできました。その時、私もこのような「人に喜びを与えられるセラピスト」になりたいと思いました。そのためには、多くの知識、高い技術、コミュニケーション能力が必要であると思い、この病院に入職を希望しました。

今はまだわからないことが多く、迷惑をかけることのほうが多いと思いますが、人に喜びを与えられるセラピストに少しでも近づけるよう精一杯努力したいと思います。

これからよろしくお願いいたします。

リハビリテーション部  
理学療法士  
大津 勇介



# 総合診療科開設！

## ～「地域を診る」医師を育てる

信州大学医学部附属病院総合診療科長 関口 健二

皆さんは「総合診療」と聞くと、どんなイメージをお持ちでしょうか？ある方はNHKでやっている「ドクターG」をイメージするでしょう。またある方は地域の開業医さんをイメージして、「どうしてそれが大学病院に必要なの？」と疑問に思われる方もおられるかも知れません。或いは、とりあえず最初に患者さんを診て「振り分け」をするものだ、と考える方もおられるでしょう。実はその一つ一つは総合診療の一面を示してはいますが、しかし、それだけではありません。ここでは、我々総合診療科のビジョンを皆さんと共有したいと思います。

### 1. 開業医や診療所にとっての信頼のおける後方機関 (外来診療)

総合診療科外来では、原因の分からない健康問題で困っている患者さんや、複数の健康問題を同時に解決する必要のある患者さんを対象に外来診療を行なっています。皆さんには何でも相談できる「かかりつけ医」の先生をまず持っていただき、通常はかかりつけ医の先生に診てもらいながら、何か困った健康問題が生じたときに、どんな相談でも受けることのできる、信頼できる「砦」としての役割を果たします。

### 2. 地域中小規模病院の入院診療の充実

患者さんの中には、入院での治療を要する患者さんもたくさんおられます。長野県は広大な土地を有し、中小規模の病院がたくさんありますが、そのひとつひとつの病院に全ての専門科を作ることは不可能であるばかりか、非常に効率の悪いものです。特に、複数の健康問題を抱えている高齢者にとっては、ひとつの臓器に囚われず総合的に診てもらう必要があります。総合診療科では、地域協力病院（市立大町総合病院など）で主治医として入院診療に携わり、患者さんを総合的に診ることで質の高い入院診療の提供を目指します。

### 3. 総合的に診療することのできる医師養成

若手医師の教育と総合診療医の養成は我々の使命です。特定の臓器や疾患に囚われることなくジェネラルに診療して、それぞれの診療する地域で、責任ある医療を提供することのできる医師の養成に努めます。

そんな「総合診療科」が開設されました！既に超高齢社会の中にある日本ですが、「総合診療」はこの喫緊の課題にひとつの方策を与え、希望を与え得る分野であると信じています。限られた人員でのスタートとなりますが、皆さんと共に！より良い地域医療を築いていくことができればと、願っています。

臨床推論研修の中核となる信州大学医学部附属病院



救急総診外来研修の中核となるJA厚生連 北信総合病院

病院総合診療研修の中核となる市立大町病院

# 第41回 信州大学医学部附属病院腎臓病教室 〈低たんぱく食の献立作り(調理実習)〉

臨床栄養部 丸山 陽子



本院の腎臓病教室は、平成12年から春・夏の調理実習、秋の講義と年3回開催しています。

41回目は平成26年3月15日(土)、ふくふくらいず内の城東公民館にて患者さん、ご家族、医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士、管理栄養士が参加しての調理実習を行いました。

当教室は、たんぱく質調整食品を使わずに献立を作る事をテーマに取り組んでいます。実習では、家族の食事から1日1800kcal、たんぱく質40g、塩分5gの低たんぱく・減塩食への応用を学びます。調理のポイントを説明後、全員で昼食を作り、試食をします。最後に自己紹介をしながら、食事だけでなく、薬のこと、生活のこと、検査データのことなどを質問していただける時間もあります。もちろん、患者さん同士、調理や試食をしながらの情報交換も、実習ならではの光景です。



ビビンバは韓国風混ぜご飯です。低蛋白にする為に肉の量を減らし、野菜で量を補います。本来は味付けの濃い料理ですが、風味の強いごま油・ネギ・生姜・一味唐辛子を使うことで、トッピングの塩分が少なくても味を引き立てることができます。また、ご飯はニンニク・少量の鶏ガラスープの素を加えて香りよく炊きあげました。腎臓病の食事療法では、エネルギー

の確保のために主食は米飯であれば240g(おにぎり2個分)をしっかり食べていただきたいのですが、この量の米飯を食べることはなかなか大変なことです。ここでは味付以外に、米飯・トッピング・コチュジャンをザクザク混ぜ、まとまりをあえて残すことで味のメリハリが利き、食べやすくなるなどの工夫もお伝えしました。

腎臓病教室の開催日は病院ホームページ、院内掲示、松本市広報等でお知らせしています。ご興味のある方、ご参加お待ちしております！



## ● 献立 ●

- ビビンバ、野菜のはちみつマリネ ●
- イチゴのチョコレートソースかけ ●





## 西4階 病棟の紹介

西4階病棟は、産科婦人科、NICU（新生児集中治療室）、GCU（新生児治療回復室）のある周産期メインの病棟です。松本地域周辺の病院や診療所での分娩取り扱いの中止などのため、近年当院の分娩数は急増しています。昨年は894件のお産がありました。また当院は、地域周産期母子医療センターでもありますので、県内各地からハイリスク妊娠・分娩となるような妊婦さんや褥婦さんも多く搬送されてきます。

当院では平成20年に助産外来が開設されました。当院で出産される妊婦さんは医師の妊婦健診のほかに、助産外来で助産師による健診を3～4回受けてもらっています。妊娠中の過ごし方、お産のこと、育児のサポートなど、さまざまな不安や心配事について妊婦さんから相談を受け、対応しています。

早産、低出生体重児の赤ちゃんが出生した時は、NICUやGCUに入院されます。とても小さく産まれた赤ちゃんが大きく元気になって退院される日は、私たちスタッフにとっても大変嬉しい一日となります。

生殖医療センターでは、採卵、胚移植といった不妊治療も行われています。

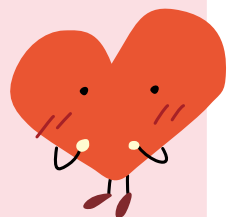


一つの病棟で、妊娠から出産、赤ちゃんの成長まで見えています。産婦人科医と小児科医の連携はもとより、助産師、看護師の情報共有、チーム間の連携で、母児により良いケアを提供できるよう日々努めています。



### ご意見函からの 声

**入**院中お世話になりました。緊急手術となりましたが、スタッフの方々が連携を取り、素早い対応をしていただいたおかげで今日があることに感謝したいと思います。担当の先生やスタッフの方々、看護師さんのおかげです。どの方も本当に一生懸命して下さいました。



お褒めのご意見をありがとうございます。日々の診療業務の大変励みになりました。今後も精一杯努めてまいります。

# 電話番号表 (市外局番 0263) 代表番号 : 35-4600

## 【診療科外来】

南 1 階	小児科	37-2776	南 3 階	眼科	37-2789	リハビリテーション部(理学療法)	37-2836		
	遺伝子診療部			耳鼻いんこう科	37-2791			リハビリテーション部(作業療法)	37-3399
	先端心臓血管病センター			産科婦人科	37-2793	通院治療室	37-2552		
	循環器内科			皮膚科	37-2778			医療福祉支援センター	37-3370
	整形外科			消化器外科					
	脳神経外科			移植外科	37-2783			胸痛センター	37-2803
総合診療科	小児外科	37-2831	外来予約センター	37-3500					
南 2 階	呼吸器・感染症内科				37-2768			北 2 階	呼吸器外科
	消化器内科	乳腺・内分泌外科	37-2787	臨床試験センター		37-3389			
	血液内科	麻酔科蘇生科					37-3381		移植医療センター
	腎臓内科	形成外科	37-2796						
	脳神経内科	精神科					37-2773		
	リウマチ・膠原病内科	子どものこころ診療部	北 3 階						
糖尿病・内分泌代謝内科	泌尿器科								
内科総合外来	特殊歯科・口腔外科								
放射線科									

## 【医事課】

収 入 係	37-2763
入 院 係	37-2759
外 来 係	37-2757

## 【医療支援課】

患者サービス係 (診断書・労災)	37-2762
---------------------	---------

## 【病棟スタッフステーション】

西病棟		階	東病棟	
<b>【先端心臓血管病センター】</b>				
循環器内科	37-2777	8階	糖尿病・内分泌代謝内科	37-2769
心臓血管外科			乳腺・内分泌外科	
脳神経内科、脳神経外科	37-2774	7階	消化器内科、血液内科	37-2771
リウマチ・膠原病内科			腎臓内科	
皮膚科	37-2788	6階	<b>【呼吸器センター】</b>	
泌尿器科			呼吸器・感染症内科	37-2784
			呼吸器外科	
消化器外科、消化器内科	37-2782	5階	眼科、脳神経外科	37-2790
移植外科、小児外科			麻酔科蘇生科	
産科婦人科	37-2772	4階	小児科	37-2794
新生児科(NICU・GCU)			婦人科	
精神科	37-2775	3階	整形外科	37-2786
子どものこころ診療部				
放射線科、消化器外科、移植外科	37-2780	2階	耳鼻いんこう科	37-2792
小児外科、特殊歯科・口腔外科、RI			形成外科	
信州がんセンター、救急科				
くすりの相談室	37-3013		地域医療連携支援室	37-3370
総合医療相談室	37-3370		難病相談支援センター	34-6587
がん相談	37-3045		難聴児支援センター	34-6588
セカンドオピニオン外来	37-3111		肝疾患診療相談センター	37-2922
先端細胞治療センター (分子細胞診療室)	37-3220			



### ☆相談窓口☆

受付時間：月～金（祝除く）  
9時～16時

## 編集後記

大雪や予想以上の寒さと苦闘した冬が去り、ようやく松本にも春がやって来ました。そして、新年度が始まり、例年のように多くの新入職員が働き始めています。今年度は、新病院長の就任、新たな診療科の開設、新看護部長の就任等、新しい事柄がたくさんあります。

ハミングは、引き続き当院の新しい動きをお伝えしてまいります。ご覧になってのご意見・ご感想もお寄せください。

(看護師長 伊藤喜世子)

あなたの自慢の写真で「ハミング」の表紙を飾りませんか？ 写真を募集しております！

お名前・写真のタイトルをご記入の上、  
[ctc@shinshu-u.ac.jp](mailto:ctc@shinshu-u.ac.jp) へお送りください。  
写真は2MB以上5MB未満のjpgデータ

### 【お問合せ・応募宛先】

信州大学医学部附属病院 総務課 卒後臨床研修係  
TEL : 0263-37-3050  
※応募はメールのみ受付